

1993.4.1

Gift of Life

Vol.1

兵庫腎疾患対策協会会報

発行：兵庫腎疾患対策協会
住所：〒659 芦屋市船戸町4-1
ラボルテ4F (安井眼科内)
TEL: 0797-31-8288
FAX: 0797-22-6144

会長挨拶 兵庫腎疾患対策協会 会報発刊によせて



会長 石神 裕次

兵庫腎疾患対策協会は平成2年秋設立されて2年半が経過し、今春より第4年度を迎えることになりました。発足以来、遙々たる歩みではありましたが、“Gift of Life”の名の下に、腎疾患の予防・腎移植の促進をはじめ、いのち、腎の大切さを知りていただきため、種々の運動を進めてきました。その間、本会によせられました皆様方の暖かいご支援、ご協力に対し心よりお礼申し上げます。これらの働きを通じて県民の皆様に腎、とくに腎移植に対する関心が深まりつつある事はご同慶の至りと存じます。しかし、わが国の現状をみると、腎疾患に対する総合医療体制の面ではその他の先進諸国に比べ極めて遅れをとっていることは明らかで、腎移植についてはその施行件数は横ばいを示しており、兵庫県では、腎移植を希望して待機しておられる方が700名を超えており、死体腎移植は年間10件に過ぎない状態です。今後人工透

析患者数が年々増加する傾向を見ますと、まことに憂慮すべき事柄と考えます。提供腎を外国に依存することが、買腎とも関連して倫理的にも深刻な問題となっており、この点、献腎カードの普及、即ち腎提供者の登録の促進が緊急重要な課題となっており、今後色々な機会を利用して啓蒙に努力したい所存です。次の問題として、これらの貴重な提供腎を有効に移植の機会が与えられた場合の諸機関の迅速かつ効果的な連携が要求され、このためには非専任コーディネーターの養成が不可欠となります。本年度は活動の一環として、この道を志す若い人々に外国研修の助成を行なう事としました。人工透析患者の増加、透析歴の長期化に伴い種々深刻な問題が発生している今日、本会の使命も益々重要となって参りました。今後引き続き皆様の暖かいご支援をお願いして、会報発刊のご挨拶とします。

1992年度 兵庫腎疾患対策協会 幹事

会長 石神 裕次	守殿 貞夫	長久謙三	福西 孝信	森村 美佐子
生駒 文彦	後藤 武男	西里一司	藤田 晨宏	安井 多津子
井上 聖士	坂井 瑞美	原信二	藤田 嘉一	芳野 芳一
金津 和郎	田口 隆子	八馬 富久子	松本 修	

(50音順)

会計監査 黒丸 正四郎 西村 多枝子

兵庫腎疾患対策協会 発起人（1990年8月現在役職）

国際ソロチミスト神戸東 朝比奈 勝（伊丹市医師会会長）	永井 清保（兵庫医科大学学長）
有馬 正明（兵庫医科大学泌尿器科助教授）	永野 俊介（兵庫県立西宮病院泌尿器科部長）
生駒 文彦（兵庫医科大学泌尿器科教授）	永中 村肇（神戸大学小児科教授）
石神 裕次（神戸大学名譽教授）	中西 村亮一（尼崎市医師会会長）
井上 聖士（兵庫医科大学人工透析部講師）	西浜 西寿三郎（兵庫県医師会会長）
大迫 達也（川西市医師会会長）	上原 信二（兵庫医科大学病院院长）
岡本 本道（兵庫県病院協会会長）	東野 信一（芦屋市医師会会長）
金津 和郎（兵庫県立尼崎病院内科部長）	東平 広（神戸大学病院院长）
守殿 貞夫（神戸大学泌尿器科教授）	西林 烟信（兵庫県立西宮病院腎移植センター部長）
北村 行彦（兵庫県立私病院協会会長）	福岡 宏（兵庫県立尼崎病院院長）
黒丸 正四郎（神戸大学名譽教授）	藤田 昭一（兵庫医科大学人工透析部教授）
後藤 武男（高砂市民病院院長）	坂井 嘉一（神戸大学泌尿器科助教授）
佐藤 脩（西宮市医師会会長）	木野 修（神戸市医師会会長）
瀬谷 口賀（日本医師会常任理事）	吉澤 泰（神戸市医師会会長）
谷口 賀三（宝塚市医師会会長）	和田 博義（兵庫医科大学小児科教授）
田村 忠雄（国立姫路病院院長）	
長久 肇（長久病院院長）	

(以上 50音順)

第3回総会 並びに記念講演会 講演会

「先端医療と人間」

講師：加賀 乙彦 氏

精神科医（東大医学部卒）であり、作家としてもご活躍の氏は臓器移植にも深いご理解があります。



日時：1993年9月4日（土）

- 総会：PM 4:00～4:30
- 講演会：PM 4:45～5:45

講師 加賀 乙彦 氏

場所：神戸ポートピアホテル

会員名簿

1993年3月31日現行

特別企劃

平法
浩和吉
林畑
西浜東
村西野
亮一郎
一郎野
亮三郎
亮寿
恒保
攝
瀬谷永
尾村井
久清
正四郎
行
彦
朝比奈
大國
北黒佐
村丸
準道
這本
朝
勝一
雄

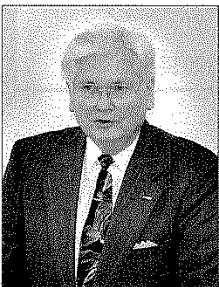
(50音順)

演会報告

(全米臓器提供ネットワーク)

「United Network For Organ Sharing(UNOS) の機構について」

1993年1月23日（土）神戸勤労会館において
UNOS理事長、Gene A. Pierce氏



Gene. A. Pierce氏

1930年生まれ。
リッサモンド大学経営学部卒
名譽法学博士。
バージニア大学外科事務本部長
米国南東部腎臓確保機関理事長
などを歴任。ヨノスには設立
南段階から参加し、現在、
理事長を務める。

本日は兵庫腎疾患対策協会のご招待に御礼申し上げます。私は米国のUNOS (United Network for Organ Sharing : 全米臓器提供機構) の理事長を務めております。

さて、米国のようなUNOSが日本に必要かとの間に残念ながら私には答えることができません。その答えは米国で何故UNOSができたか、また今日までの活動についてお聞きいただき、みなさんが決めて下さい。

移植は非常にユニークで、免疫、倫理、経済の要素で構成されています。一方では移植を推進するには医療、法律、社会について考えなければなりません。

1950、1960年代は移植は実験治療の時代でした。移植に関する法律も規制もありませんでした。1968年に初めて州レベルの法律ができました。移植の普及と共に同年 The Uniform Anatomical Gift Act(臓器提供法)が作られ、ドナー・カードが法的に認められました。

1972年までに50州がこの法律を受け入れました。1960年代初頭は数少ない移植センターで、まことに移植が行なわれていました。1969年バージニア大学の移植のバイオニアであるデイビッド・ヒューム教授がThe South eastern Regional Organ Procurement Foundation（南東地域臓器確保財団）を設立し、東南地域の移植センターとの間の連絡網が初めてできました。

1978年The Uniform Determination of Death Act(統一死決定法)が提唱され、1980年に承認されました。これは血液循環の停止、呼吸停止、または全脳の不可逆的機能の停止の3つの内のいずれかを以て死亡を決定するものです。今日、全ての州で脳死が法的に受け入れられています。

1980年の初め、移植が盛んになると共に、移植ネットワークが必要になってきました。1984年10月National Transplant Act(全米臓器移植法)が制定されました。この法律では4つの事項が要となっています。①臓器の空運賃料、②臓器の確保と移植について、③専門医会員会員

(文書 福 西 壽 僕)

置する。③全米に臓器確保機関（OPO）を置き、移植ネットワークを形成すること、④厚生省との契約で移植結果の科学的登録とその分析を行なうこと、です。これによりUNOSは1986年Organ Procurement Transplantation Network（OPTN：臓器確保ネットワーク）を連邦政府から管理するところとなりました。

UNOSはこの6年間で臓器提供の方針、移植を待っている患者のコンピューター登録、移植施行後の結果調査、臓器搬送の援助、専門家と社会の教育を成し遂げました。

UNOSは米国を11の地域に分け、それぞれの地域からの代表者が理事になっています。またそれぞれの地域で移植に関わる機関、施設、団体、例えば移植病院、Organ Procurement Organization（OPO：臓器確保機関）、組織適合検査施設、奉仕団体などもUNOSの会員になっており、そのような会員数は現在では416にのぼっています。

OPOについて述べますとOPOは臓器を確保し、その臓器を提供する独立した機関です。つまり提供病院と移植病院の間を仲介し、また調整役もします。腎提供を確保すれば連邦政府がそのための費用を医療費からOPOに支払われます。これで運営されています。

OPOでは数多くのコーディネーターが働き、日夜臓器提供の確保に努めていますが、臓器提供数が足りません。1991年の提供者数は4530人でしたが、1992年も同程度でこの数は専門家の推定によれば提供者になりうる死亡者数の1/2か1/3ではないかとされています。そのため、看護学校での移植の教育をさらにすすめ、コーディネーターの活動も強化する方針です。最近の脳神経外科学会との調査では、98%の脳神経外科医は臓器移植の意義を認め、70%が臓器提供は脳神経外科医の責任であるとの結果が出ています。日本でも一日でも早く臓器移植ができるよう期待しております。

賛助会員（法人団体）及び、ご寄付いただいた法人・団体

武庫川透析サービス株式会社	株式会社大丸神戸店	北川研磨工所	甲南会社	兵庫県立病院
エム・エイチ・エス有限会社	兵庫医科大学第二内科	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
永井医院	兵庫医科大学人工透析部	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
藤本産婦人科医院	明石北ロータリークラブ	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
日本商事株式会社	L.C国際協会335A地区1ゾーンZCL	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
株式会社大塚綜合食品ショッピングセンター	サンド製菓株式会社神戸支店学術3課	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
住友海上火災保険株式会社	中外製薬株式会社尼崎出張所	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
セルコンビニスサークル株式会社	明視鏡株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
川西食品有限公司	元町HDクリニック	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
阪神タクルト販売株式会社	メガネの田中チエーン株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
小鳩食	ペントラックス・ヴィジョン株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
國源ソロブチミスト神戸東	株式会社ミドリ十字神戸支店	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
國際ソロブチミスト六甲	株式会社メガネの芦屋	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
甲南コンタクトレンズ株式会社	株式会社日本ウエルカム	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
株式会社フジヤ洋菓子店	大坂蒸品株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
関西労災病院	武田蒸品工業株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
株式会社	日本製紙株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
長久天満詮療	淡川フルタ菓品株式会社	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
合名会社辰巳商店	錦織保険組合連合会兵庫連合会	兵庫県立病院	兵庫県立病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
上ク	日本アップジャパン株式会社	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
西筋市立西脇病院	協和発酵工業株式会社	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
末光会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
アソリ・シャルパンティエ	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
原浴尿器科病院	高山クリニック患者会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
川西医師会	高砂市民病院腎友会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
東洋謹造株式会社大阪支店医学薬学術課	佐野病院患者会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
上ヶ原病院	石田内科クリニック	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
神明病院	志田医院患者会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
大塩病院	星乃クリニック	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
株式会社アイ・エム・エム	ツカザキ病院患者会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
佐吉川病院	広畠銀セントラル株式会社	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
住吉川クリニック	メディキット株式会社大阪営業所	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
ケイ・ケイ・アソシエイツ	サンド菓品株式会社	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
萬有製薬株式会社	新信地域新興農業会	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
甲南冷機株式会社	住友海上火災保険株式会社	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
兵庫医科大学第2外科	医療法人吉澤健堂	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
有限公司	株式会社三井	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
住友製薬株式会社	株式会社三井	兵庫県立尼崎病院	兵庫県立尼崎病院	兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室

賛助会員（個人）2154名のお名前は割愛させていただきます。

ご寄付いただいた方々

石伊坂次	住吉川病院有志一同	浜西寿三郎	藤井勝子	安井和夫
神賀登久子	谷学一	林美恵子	井島勝一	井西博道
丸正四郎	土田直一	兵庫県腎友会	富田昭太郎	安井和夫
坂忠雄	橋敬一	兵庫県総合保健協会	谷口一弘	安井和夫
坂昭子	橋直治	兵庫県透析医会	森本康弘	安井和夫

事業報告

兵庫腎疾患対策協議会は兵庫県下における腎疾患の予防から移植までの総合医療体制の確立を推進し、住民の健康および福祉の向上に寄与することを目的として設立され、腎疾患の予防および治療に関する知識の啓発、普及・兵庫県腎臓バンクの行な事業への協力・透析療法および腎臓移植に関する医師・医療機関相互の協力体制の樹立・合せて総合医療体制の確立を目指した独立した機関を設立することを事業内容としています。
現在まで下記のような活動を、ご協力頂きました会員および寄付金によって行ってきました。

1992年度

6月7日現在

正会員	335名
賛助会員（個人）	3,673口（1964名）
賛助会員（団体）	602口（80団体）

6月3日

日本においてバイオニアとなる本格的な臓器移植コーディネーターを養成するため一般公募によりアメリカへ派遣することを計画。年間約300万円の助成金を予定。

10月1日

腎月間にちなみ、第2回朝日新聞啓蒙広告掲載
『愛と健康の贈物』

10月6日

腎パンク登録者拡大街頭キャンペーン参加

10月8日

第2回総会 於：ホテル竹園
講演会「米国における腎臓移植の現状」
講師：土井俊夫京都大学講師

10月23日

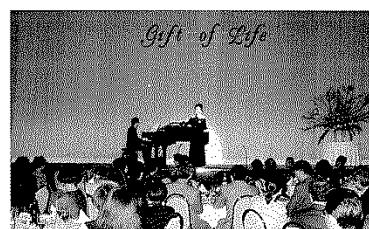
於：神戸市労働会館
講演会「United Network For Organ Sharing (UNOS) の機構について」
講師：Gene.A.Pierce (UNOS理事長)

11月22日

コーディネーターを養成するためアメリカへ派遣決定

報

米国へ、移植コーディネーター研修に
2名派遣!!
昨年度の事業予定でありますコーディネーター研修の派遣が決定しました。先日来日されたジンピアス氏(UNOS会長)のもとへ、6月より約3ヶ月間、菊地耕三さん(看護士)を派遣することになりました。つづいて、合田洋子さん(看護婦)も近日渡米の予定です。お二人とも日本のコーディネーターのプロフェッショナルの先駆者になるべく、成果を期待しています。



お願 い

協会の活動のため、ひきつき暖い
ご支援をお願いいたします。

ご寄付・会費 振込口座

・さくら銀行 芦屋駅前支店
普 3 5 1 1 1 8 1
兵庫腎疾患対策協議会
・郵便局 神戸1-9421
兵庫腎疾患対策協議会